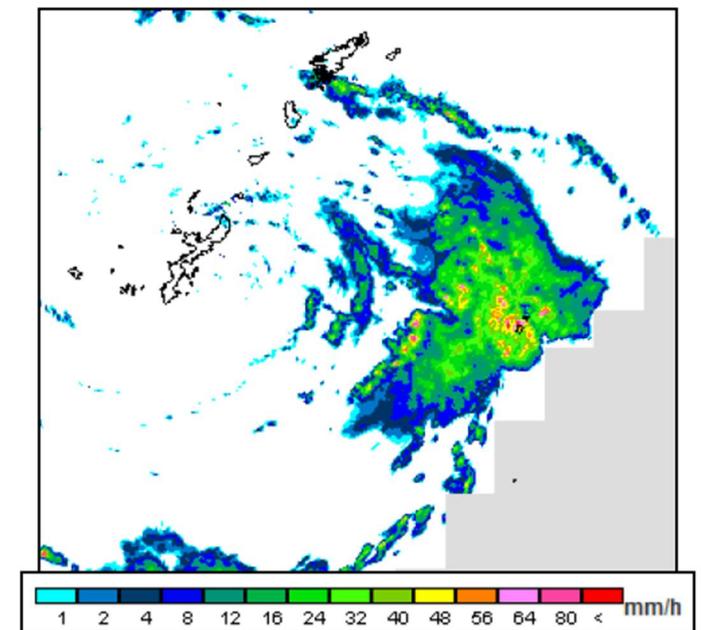


令和7年台風第8号に伴う災害（大東島地方）  
被害及び災害応急対策の実施状況

令和7年8月7日  
沖縄県災害対策本部 総括情報部

## 1 災害の概況

- 令和7年7月23日21時に南シナ海で発生した台風第8号は、速度を速めて沖縄の南から東シナ海へ北上した後、勢力が弱まり26日09時には東シナ海で熱帯低気圧となり、その後再発達して、27日21時に沖縄本島の東の海上で再び台風となりました。
- 大東島地方では、26日から28日にかけて熱帯低気圧や熱帯低気圧から再び台風となった台風第8号の影響で大気の状態が非常に不安定となりました。そのため、大東島地方では長期間にわたって発達した雨雲がかかり、多いところで1時間に40mmを超える激しい雨を観測しました。
- また、27日から28日にかけて大東島地方では、線状降水帯による大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性があると見て、気象庁から注意の呼びかけがありました。
- このため県では、27日09時55分に沖縄県災害警戒本部を、28日09時19分に沖縄県災害対策本部を直ちに設置して、被害状況の把握や災害対策を進めました。  
また、災害救助法を適用して県による救助を開始しました。
- 大東地方では、線状降水帯こそ発生しなかったものの、7月24日から28日までの総降水量は、南大東島で666.5mm、旧東で564.5mm、北大東で615.5mmの記録的な大雨となりました。

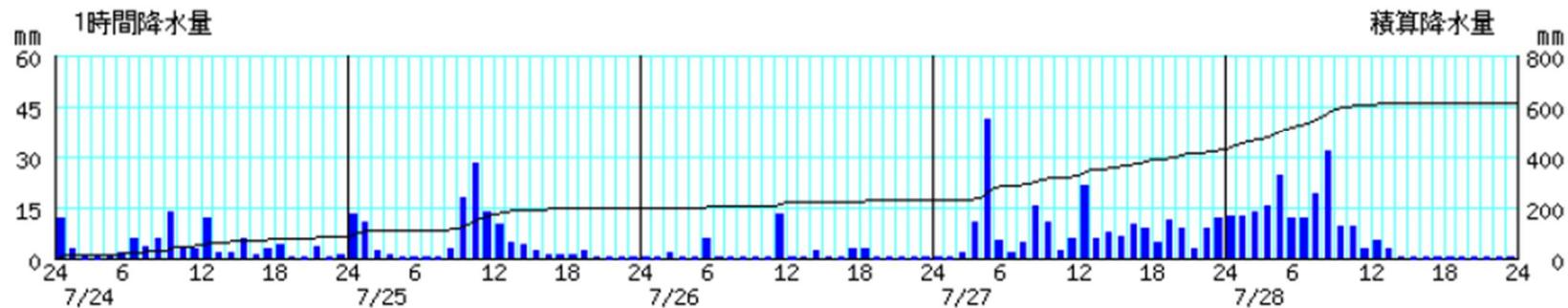


降水強度 7月28日09時

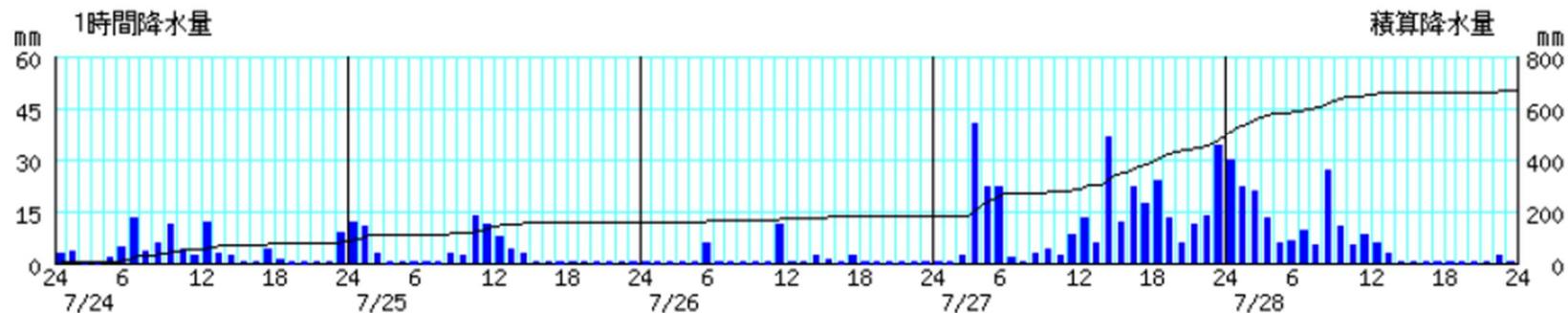
〈出典〉 顕著気象現象速報（令和7年7月29日  
南大東島地方気象台）5頁

# 1 災害の概況

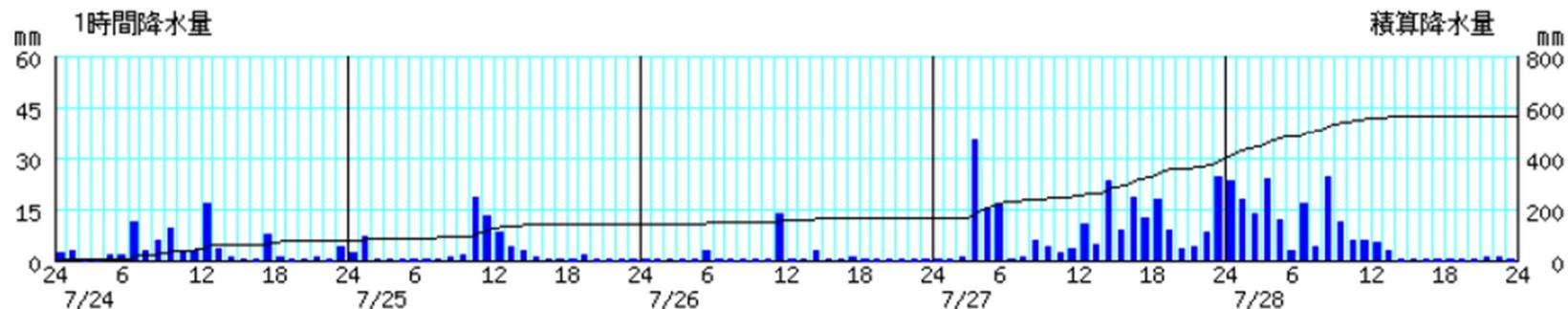
## 南大東島 2025年7月24日00時～2025年7月28日24時



## 北大東(北大東空港) 2025年7月24日00時～2025年7月28日24時



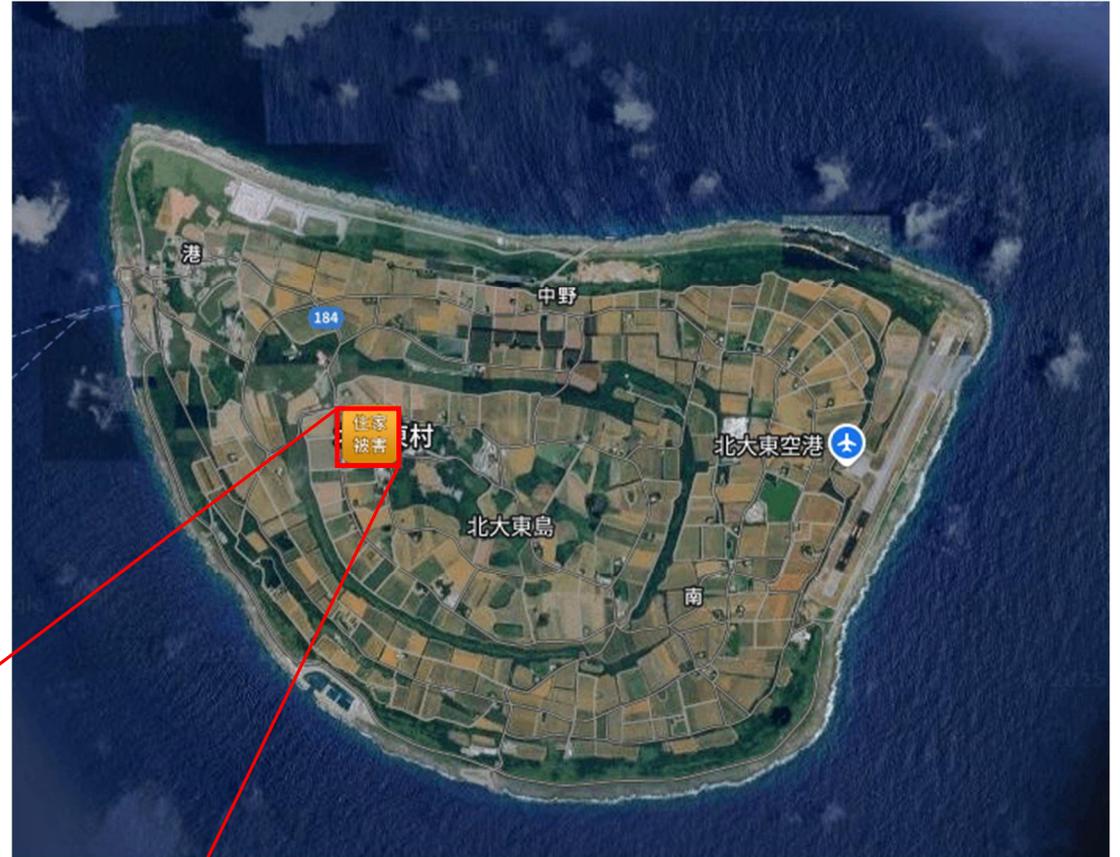
## 旧東(南大東空港) 2025年7月24日00時～2025年7月28日24時



## 2 被害状況（北大東村）

※調査継続中

	人的被害	なし	
住家被害	床上浸水	10 件	
住家被害	床下浸水	4 件	
住家被害	半壊・一部損壊	なし	
	浸水（非住家）	2 件（役場水耕栽培施設、製糖工場）	
道路被害	交通情報	道路損壊等	なし ※ただし、道路等の冠水多数
		土砂崩れ	なし
		車両被害	なし



### 3 被害状況（北大東村）



浸水状況  
（道路・住家）

浸水状況  
（住家）

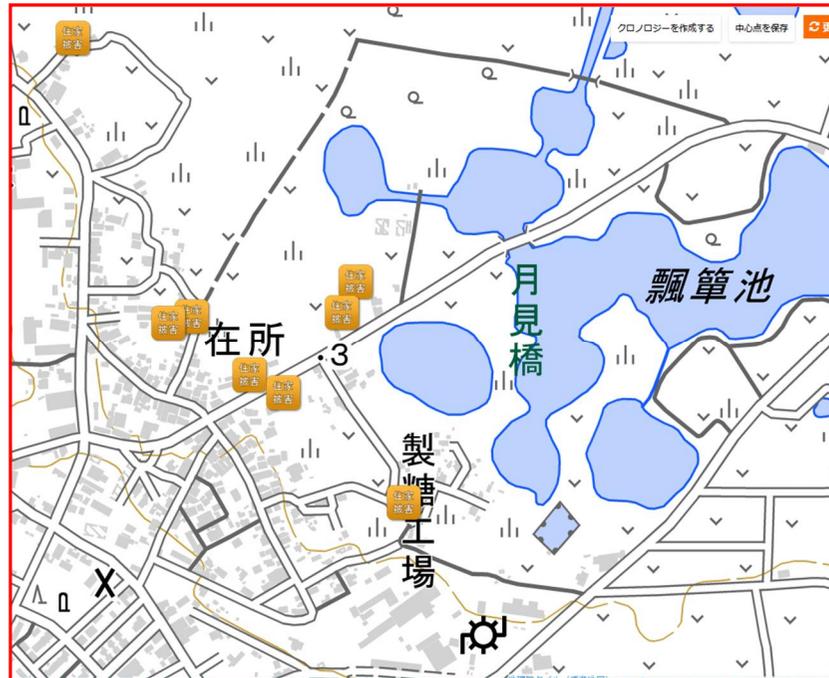
浸水状況  
（道路・住家）

〈写真撮影〉  
県農林水産部 南部農業改良普及センター  
北大東村駐在  
令和7年7月29日提供

### 3 被害状況（南大東村）

※調査継続中

	人的被害	なし	
住家被害	床上浸水	5件	
住家被害	床下浸水	13件	
住家被害	半壊・一部損壊	なし	
	浸水（非住家）	なし	
道路被害	交通情報	なし	※ただし、道路等の冠水多数
	土砂崩れ	なし	
	車両被害	なし	



### 3 被害状況（南大東村）



浸水状況  
( 住家 )

浸水状況  
( 農地 )

浸水状況  
( 道路 )

〈写真撮影〉  
県農林水産部 南部農業改良普及センター  
南大東村駐在  
令和7年7月29日提供

## 4 災害応急対策の状況（概況）

沖縄県災害対策本部は、被災した北大東村及び南大東村の支援ニーズを適宜把握し、国（内閣府沖縄総合事務局、防衛省陸上自衛隊第15旅団など）と調整・連携して、災害応急対策を実施しているところです。

### ③北大東村・南大東村への支援（主なもの）

#### 排水活動の実施（北大東村）

北大東村の要望を受けて、陸上自衛隊及び内閣府沖縄総合事務局が保有する排水用のポンプを、陸上自衛隊の航空機と民間フェリーにより輸送、浸水地域の排水活動を実施※ 南大東村は、地形の制約から排水が困難であることから、水門の操作と自然蒸発による浸水の解消を目指す。

#### 物資の緊急輸送（北大東村）

北大東村の要望を受けて、県及び日本赤十字社沖縄県支部より供出した避難者に対する物資を、航空自衛隊のヘリコプターにより緊急輸送

##### ○県供出分

レトルトパン	750食
レトルト食品	750食
飲料水	504,000ml (500mlペットボトル1,008本)

##### ○日本赤十字社沖縄県支部供出分

簡易トイレ	4台
簡易トイレ用消耗品	4箱

#### 応援職員の派遣（南大東村）

住家被害認定調査など村の災害業務を応援するため、県職員を順次派遣



### ②民間事業者の協力

#### 座席の優先確保

県のリエゾンを現地に派遣するため、北大東島・南大東島への唯一の航空路線を運用する琉球エアコミューターに対して、沖縄県との包括的連携に関する協定（平成30年6月締結）にもとづき座席の優先確保を要請

### ①支援ニーズの把握

#### オンライン会議の開催（定期）

国・県・被災自治体に参加するオンライン会議を定期的で開催して日々変化する支援ニーズを把握し、関係機関と共有

#### リエゾン（連絡調整員）による聞き取り

県職員2名を北大東村・南大東村の役場に派遣して日々変化する被害状況と支援ニーズを把握 支援ニーズは、国や県に直ちに共有され、支援内容の検討につなげる

### ②支援内容の検討・資機材等の調達

#### 国・関係機関との調整

危機管理センター（本庁舎5階）を総合調整の拠点として開設し、被災自治体の支援ニーズをもとに、国・県・防災関係機関間で支援内容を検討

#### 災害派遣要請（7月29日付）

速やかな災害応急対策を実施するため、災害対策基本法にもとづき陸上自衛隊第15旅団に対して災害派遣を要請（8月3日付けで撤収要請）

#### 資機材の調達

県、内閣府沖縄総合事務局、自衛隊、那覇市消防局など各防災関係機関の人員や保有する資機材等の状況を踏まえて、資機材等を調達

## 5 災害応急対策・復旧対策の状況（北大東村）

		支援項目	実施状況	今後の対応
応急対応	1	被害情報の収集 	県職員リエゾンを派遣 総括情報部より7月30日から、県職員リエゾンを現地へ派遣し、現地において被害情報の収集を開始	災害応急対策の終了後は、各部局における情報収集に移行する。〈各部局〉
	2	排水作業支援 	陸上自衛隊・沖縄総合事務局による排水作業を実施 7月29日、自衛隊へ災害派遣を要請し、沖総局TEC-FORCEとともに現地へ派遣 小型ポンプ(陸自+沖総局)計7台、排水ポンプ車(沖総局)1台を利用して、生活エリア(役場周辺地域、道路等)の排水活動を実施 トイレ・お風呂が使用できない避難者の生活再建のため、沖総局TEC-FORCEにて、溜池(浄化汚水の排水先)の排水を実施	浸水被害が大きい生活エリア(役場周辺地域、道路等)の排水作業を概ね完了〈知事公室・沖縄総合事務局・陸上自衛隊〉 トイレ使用ができるまで溜池(浄化汚水の排水先)の排水活動を継続する。〈知事公室・沖縄総合事務局〉
	3	被災者・避難者支援 	生活物資の緊急輸送 村の要望を受けて、避難者の生活物資として、県から食料、飲料水を、日本赤十字社沖縄県支部から簡易トイレを供出して、8月1日に航空自衛隊により緊急輸送	村の追加支援要請(物資支援、福祉支援等)に対応できる体制を整えながら、村の追加ニーズに対応していく予定〈生活福祉部〉
復旧対応	4	住家被害認定調査 消毒作業支援 	関係機関の連携による支援を実施 国頭村の協力により、住家被害認定調査が完了し、併せて家屋消毒用の消毒液を調達	家屋消毒のためのノウハウ支援の体制を整えながら、村のニーズに対応していく予定〈保健医療介護部〉
	5	農業被害調査 	農業被害の調査開始 農林水産部の現地駐在による被害状況調査を開始し、現在も詳細な農業被害の確認中	農業被害支援も視野に、詳細被害調査を継続していく予定〈農林水産部〉
	6	災害廃棄物支援 	想定される災害廃棄物への対応準備を開始 現在、引き続き災害廃棄物の発生状況について確認中 円滑な処理を行えるよう関連補助金(災害等廃棄物処理事業費補助金)等について情報提供 災害発生時の廃棄物処理に関する協定に基づく(一社)沖縄県産業資源循環協会による支援を視野に同協会に情報提供	災害廃棄物の発生状況を踏まえ、引き続き、仮置場の設置など円滑な処理を行えるよう情報の提供を行うとともに、同補助金を活用する場合に必要な手続きについて支援していく。〈環境部〉

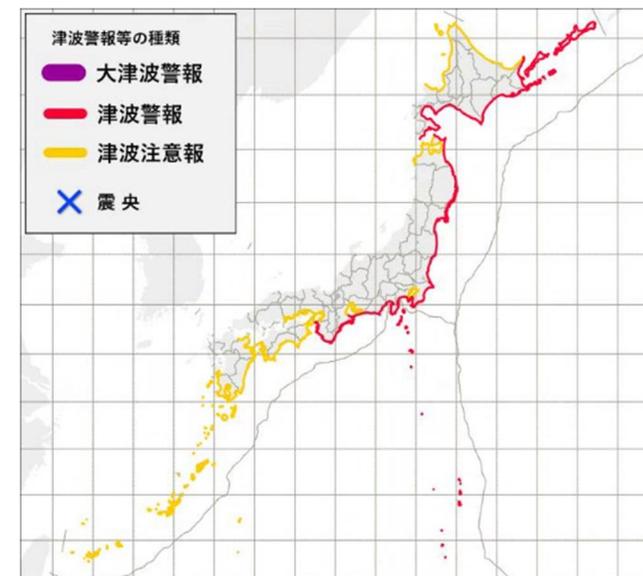
## 5 災害応急対策・復旧対策の状況（南大東村）

支援項目		実施状況	今後の対応
応急対応	1 被害情報の収集 	県職員リエゾンを派遣 総括情報部より7月30日から、県職員リエゾンを現地へ派遣し、現地において被害情報の収集を開始	災害応急対策の終了後は、各部局における情報収集に移行する。〈各部局〉
復旧対応	2 ボランティアの受け入れ 	災害ボランティアセンター開設支援の体制を確立 村より、ボランティア受け入れの可能性があることをうけ、県社会福祉協議会と連携して、災害ボランティアセンター開設等の支援ができる体制を確立	災害ボランティアセンター開設ニーズに応じて随時支援することとし、今後、村からの災害ボランティアセンター開設ニーズがあれば、開設や運営に関するノウハウ等を支援していく予定〈生活福祉部〉
	3 住家被害認定調査 消毒作業支援 	関係機関の連携による支援を実施 沖縄県ペストコントロール協会へ協力を要請（協会と村で調整中）	住家被害認定調査・家屋消毒等のノウハウ・人員支援として、住家被害認定調査、消毒のためのノウハウや人員協力の体制を整え、村のニーズを把握していく予定〈生活福祉部・保健医療介護部〉 道路清掃車両の輸送に向け準備中〈土木建築部〉
	4 農業被害調査 	農業被害の調査開始 農林水産部の現地駐在による被害状況調査を開始し、現在も詳細な農業被害の確認中	農業被害支援も視野に、詳細被害調査を継続していく予定〈農林水産部〉
	5 災害廃棄物支援 	災害廃棄物(魚の死骸等)への対応準備を開始 現在、引き続き災害廃棄物の発生状況について確認中 円滑な処理を行えるよう関連補助金（災害等廃棄物処理事業費補助金）等について情報提供 災害発生時の廃棄物処理に関する協定に基づく（一社）沖縄県産業資源循環協会による支援を視野に同協会に情報提供	災害廃棄物の発生状況を踏まえ、引き続き、仮置場の設置など円滑な処理を行えるよう情報の提供を行うとともに、同補助金を活用する場合に必要な手続きについて支援していく。〈環境部〉

## (参考) 複合災害（カムチャツカ半島付近の地震に伴う津波）への対応

- 令和7年台風第8号による災害への対応を進めていたところ、7月30日午前8時25分頃にカムチャツカ半島付近を震源とするマグニチュード8.7（速報値）の地震が発生しました。
- この地震により、午前9時40分、沖縄県全域において津波注意報が発表されたことから、県は同時刻に沖縄県災害情報連絡室を設置して事態の対応にあたりました（令和7年台風第8号による大雨沖縄県災害対策本部と併設）。
- 県では、9時46分に沖縄県全域を対象に緊急速報メールを発報して、津波注意報が発表されたこと、身の安全を確保することを周知いたしました。
- また、県管理海浜やホテル等のビーチ利用者に対しては、指定管理者や関係団体等により利用者の避難と注意喚起、ビーチ等の閉鎖の措置が行われました。
- 県内では、宮古島平良で最大波 0.2m、中城湾港、那覇、南城市安座間、南大東漁港、石垣港でそれぞれ 0.1mの津波を観測しております。
- 翌31日10時45分に津波注意報が解除されたことから、県は、午後1時55分に沖縄県災害情報連絡室を廃止いたしました。
- この津波による人的・物的被害の情報はありません。なお、避難に際し、熱中症患者3名（いずれも子ども）が発生しております。

7月30日09時40分発表



危機管理センター（本庁舎5階）に令和7年台風第8号に伴う災害（大東島地方）沖縄県災害対策本部（写真奥・大型モニター側）、カムチャツカ半島付近の地震に伴う津波沖縄県災害情報連絡室（写真手前）をそれぞれ設置して対応